



和田 茂  
アズビル株式会社  
執行役員常務

## 一般財団法人中東協力センター 50周年に寄せて

このたびは、一般財団法人中東協力センター（以下、JCCME）の創立50周年を心からお祝いを申し上げます。この貴重な機会に、これまでを振り返り、今後の展望と将来の飛躍に向けて寄稿させていただきます。

私ども azbilグループにつきまして簡単にご紹介をさせていただきます。1906年の創業以来、計測と制御の技術を追求め、人々の安心・快適・達成感と地球環境への貢献を目指す「人を中心としたオートメーション」のグループ理念の下、建物市場でビルディングオートメーション事業、工場やプラント市場でアドバンスオートメーション事業、ライフラインやライフサイエンス・製薬等の市場において、ライフオートメーション事業を展開しております。海外におきましては1990年代に中国で現地法人を設立し、その後、アジア、東南アジアを中心に欧州、米州、中東地域等においても現地法人を立ち上げ、各地域において事業を展開しております。

JCCME との関係は、今からさかのぼること約10年前、当社グループにおいて中東地域でのコントロールバルブ事業の展開を目指し、メンテナンスセンターの設立を検討している際、日本・サウジアラビア経済フォーラムへ参加し、JCCME の産業協力支援事業を知り、ご相談させていただいたことが始まりであります。当時、当社はサウジアラビアへの進出を目指す中で、JCCME のプロジェクト具体化支援事業の支援を受け、現地でのビジネス展開および起業化の可能性も含めて調査を進めてまいりました。その後、JVパートナー候補のご紹介やサウジアラビア王国と日本の両国政府への調整なども含めて JCCME には非常に強固な支援をいただき、2013年1月には現地法人「アズビルサウジアラビア有限公司」の設立をすることができました。また、2012年には日本・サウジアラビア経済フォーラムにおいて、訪日された当時のサウジアラビア王国のタウフィーク商工大臣による当社湘南工場への視察を実現し、人脈作り尽力いただき、2014年秋にはダンマン第二工業団地内に社屋を完成させたことに伴う開所式において、同商業大臣およびサウジアラビア政府関係者にご参列いただき、無事に開催することもできました。後にムハンマド皇太子の来日時には、早期にサウジアラビア王国へ進出した企業のひとつとして、当社経営陣はアル＝ファーレフ・エネルギー・産業・鉱物資源大臣兼サウジアラムコ会長と直接お会いして御礼のお言葉もいただきました。

その後、日本およびサウジアラビアでの情報提供を含めた支援を継続いただいたことから、アズビルサウジアラビアは設立から10年の節目を迎え、安定した会社運営を実施出来る会社となりました。この様に日本とは大きく異なる文化、考え方、ビジネス環境の中、現地拠点設立以来、継続した支援をいただいたことで、単独では成しえることのできなかつた事業の礎を築くことができました。これもひとえに JCCME のサウジアラビア政府との人脈や強力なご支援のおかげであり、JCCME のご尽力の賜物と深く感謝しております。

今後も当社としては、JCCMEとの協力関係を通じて、中東地域の発展に貢献することに加え、JCCME におかれましては、日本・中東諸国との懸け橋として、さらなる飛躍、ご発展を心より祈念しております。

